



LBD-A2FU2/WM ハードウェアマニュアル for Macintosh

下のボタンから、ご参照になりたい項目をクリックしてください。

製品の特徴

よくある質問 (Q&A)

使用上のご注意

使用環境について

対応メディアについて

ハードウェア仕様

ご使用の際のヒント

保証とサービスについて

PC電源連動機能について

製品の特徴

LBD-A2FU2/WMは、BD-R（片面1層/2層）、BD-RE（片面1層/2層）、DVD-RAM、1層DVD+R、2層DVD+R、DVD+RW、1層DVD-R、2層DVD-R、DVD-RWの各メディアへの書き込みに対応したUSB 2.0 High-Speed、IEEE 1394 接続タイプのブルーレイディスクユニットです。

LBD-A2FU2/WMは以下の「13種類」のメディアを使用することができます。

メディア	対応速度	メディア	対応速度
BD-R	2倍速 書き込み	BD-RE	2倍速 書き換え
DVD-RAM	5倍速 書き換え	DVD-RW	6倍速 書き換え
2層 DVD+R	4倍速 書き込み	CD-R	48倍速 書き込み
1層 DVD+R	8倍速 書き込み	CD-RW	32倍速 書き換え
DVD+RW	8倍速 書き換え	DVD-ROM	最大 8倍速 読み込み
2層 DVD-R	4倍速 書き込み	CD-ROM	最大 48倍速 読み込み
1層 DVD-R	8倍速 書き込み		

BDメディア、DVDメディア、CDメディアとともに書き込みの際には、書き込みを行うソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したメディアをご使用ください。

パソコン環境や使用するDVDメディアによっては、16倍速での書き込みができない場合があります。

DVDビデオフォーマットで書き込んだDVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアは、市販のDVDプレーヤーでの再生が可能です。

DVDビデオ作成のため、DVDオーサリングソフト、PCデータ保存のためのライティングソフト、DVD再生ソフトが添付されています。

「ファンレス」および「フロント部シャッター装備」の2つの静音機能により、書き込み時、読み込み時の騒音の発生を抑えます。

パソコンの電源ON/OFFに連動して、ブルーレイディスクユニットの電源を「自動的にON/OFF」する「PC電源連動機能」を搭載しています。電源ON/OFFの手間から開放され、パソコンと常時接続しておく場合でも、電源の切り忘れがありません。ホットプラグにより本製品の脱着を行った際にも、連動して機能します。

注意事項

- ・市販されているDVDビデオタイトルをバックアップすることはできません。
- ・現在市販されているブルーレイレコーダーとの互換はありませんので、本製品で作成したBD-AV/MV形式のディスクをブルーレイレコーダーで再生することはできません。
- ・本製品ではBS/地上デジタル放送を録画した映像は書き込むことができません。
- ・市販のDVDプレーヤーの中には、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアに対応していないものもあります。本製品で作成したDVDビデオが再生可能かどうかは、ご使用のDVDプレーヤーのマニュアルをご確認ください。
- ・著作権保護機能（CSS、CPPM、CPRM等）やコピー防止機能（COPY CONTROL CD等）が付加されているメディアは複製できません。
- ・本製品で作成するDVDビデオのリージョンコードは「ALL」となります。また、本製品はフェーズ2仕様のドライブであるため、本製品で再生できるDVDビデオは、リージョンコード「2」を含むもの、もしくは「ALL」のものに限定されます。
- ・BDメディア、DVDメディアにはラベル、シール等を貼付しないでください。偏重心を起こし、メディアが正常に読み込めなくなる場合があります。
- ・本製品はセルフパワー（電源コードからの電源供給）で動作します。バスパワー（USBポートからの電源供給）では動作しません。
- ・Toastを使用し、BD-R/REメディア、DVDメディアには追記書込みすることができません。

使用上のご注意

ここでは製品の取り扱いについての注意事項についてご説明いたします。
参照したい項目をクリックしてください。

接続の際の注意

メディアの取り扱いについて

DVD-RAMメディアについて

メディアのセットと取り出し

本製品の取り外しについて

接続の際の注意

本製品をパソコンに接続する際は以下の点にご注意ください。

- ・ パソコン本体への接続は、USB 2.0 ポートまたは IEEE 1394 ポートへ接続することをお勧めします。USB 1.1 ポートでの使用も可能ですが、その場合、データ転送速度は Full-Speed (12Mbps) までとなり、BD メディアのアクセス、DVD ビデオの再生は行えません。USB 1.1 接続で対応する機能は CD-R、CD-RW メディアへの読み込み / 書き込み、DVD メディアへのデータの書き込み、DVD-ROM、CD-ROM の読み込みのみとなります。また、CD-R/RW メディアへの書き込み / 読み込み速度は最大 8 倍速相当までに、DVD メディアへの書き込み、DVD-ROM の読み込みは標準速未満に制限されます。
- ・ 本製品はハブ経由では接続しないでください。ハブを経由して接続すると正常に動作しません。
- ・ 本製品はバスパワーで使用することはできません。必ず AC アダプタのコンセントを接続してください。
- ・ 複数の USB 機器または IEEE 1394 機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続しないでください。トラブルの原因となります。
- ・ 接続に使用するケーブルは必ず本製品付属のものにしてください。付属品以外のケーブルを使用した場合、まれに書き込みエラーなどが生じる場合があります。また、USB 接続でご使用になる場合、USB 1.1 対応ケーブルを使用すると書き込みエラーなどが多発します。
USB 1.1 ポートへ接続し使用する場合も、なるべく本製品付属のものか、USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。

メディアの取り扱いについて

正しい取り扱いをしないと、データの書き込みが正常に行われず、すでに記録されているデータが損なわれる、ドライブが故障する、等の障害が発生する場合があります。

メディアの取り扱いについては、本ハードウェアマニュアルやご使用のメディアの取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。メディアの記録面に、指紋や汚れ、ほこり、傷などがつくと、記録済みのデータが読めなくなったり、記録できなくなる場合があります。

本製品の使用、または故障により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

取扱い上のお願い

メディアをケースから取り出すときは、中心部を押さえて取り出してください。ケースへ収めるときはメディアのラベル印刷面を上から押さえて入れてください。

メディアは指でメディア中央の部分の穴の部分と外側の部分をはさむようにして持ってください。

メディアの記録面には触らないでください。メディアは印刷されていない方が記録面となります。

メディアの表面はゴミやほこり、指紋などで汚したり傷つけたりしないでください。

また、落としたり曲げたり、紙を貼ったりしないでください。(書き込み速度が低下したり、記録したデータが読めなくなる原因となります。)

メディアの印刷面になるタイトル欄に文字などを書込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンを使用してください。ボールペン、鉛筆などの先の固いものは、使用しないでください。

メディアが汚れた場合は、市販の専用クリーナーでクリーニングをしてください。ベンジン、シンナーや静電気防止剤入りのクリーナー等、指定以外のものは使用しないでください。

キズや汚れからメディアを保護するために、未使用時は短時間であっても必ず保護ケースに収めてください。

メディアを落としたり、重ねたり、また、メディアに物を乗せたり、衝撃を与えたりしないでください。メディアに無理な力を加えると、データの信頼性を保てなくなります。

メディアのドライブへのセット方法は「メディアのセットと取り出し」をご参照ください。

次のような場所には置かないでください。

ゴミやほこりの多い場所。

温度、湿度の高い場所、直射日光が当たる場所。

温度差の激しい場所。(結露が生じます)

DVD-RAMメディアについて

DVD-RAMディスクの種類

DVD-RAMは、パソコンデータの大容量記録再生を目的に開発されたリムーバブルディスクです。

DVD-RAMメディアには以下のタイプがあります。

- TYPE1** : カートリッジからメディアの取り出しはできません。(本製品では使用できません)
- TYPE2** : 片面のメディアで、カートリッジからメディアの取り出しができます。
(カートリッジから取り出した状態で本製品で使用可能です。)
- TYPE4** : 両面のメディアで、カートリッジからメディアの取り出しができます。
(カートリッジから取り出した状態で本製品で使用可能です。)

カートリッジなしタイプのDVD-RAMディスクも市販されています。

TYPE2、TYPE4 DVD-RAMメディアの取り扱い

次のような所には置かない

ゴミやほこりの多い場所。

温度、湿度の高いところ、直射日光のあたる所。

温度差の激しい所

取扱い上のお願い

メディア表面に触れない。

落としたり、曲げたり、重いものを乗せない。

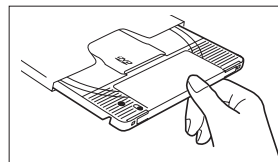
はがしたラベルを再度貼らない。

使用しないときはカートリッジに収めケースに入れて保管する。(右図)

定期的にバックアップ(データの複製)を行う。

大切なデータを保護するときはカートリッジ収納時に「書き込み禁止」にしておく(右図)

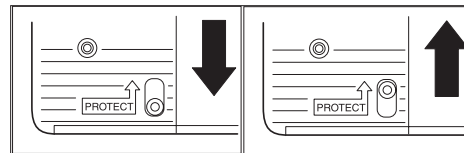
ただし、このようにしている場合もカートリッジから取り出した際に書き込みを制限できるものではありません。



☒

書き込み可能

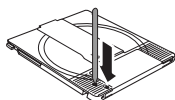
書き込み禁止



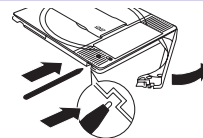
☒

TYPE2 カートリッジからメディアを取り出す場合

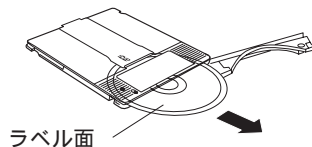
- 1** カートリッジのロックピンを、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って取り除きます。



- 2** カートリッジ左手前側面にある開閉部のへこみを先の細いもので押さえ、開閉ふたを開けます。



- 3** 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、メディアを水平に取り出します。



メディアを収納するときは

カートリッジのデザイン面とメディアのラベル面を同じ向きにしてメディアをカートリッジに挿入し、開閉フタを閉じる位置まで戻します。開閉フタを閉じた後ライトプロテクト(書き込み禁止・許可)の設定に注意してください。

取扱い上のお願い

開閉フタを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。

メディアを取り出した後のカートリッジにDVD-RAM以外のメディアを入れて使用しないでください。

メディアの記録面に指紋やよごれ、ホコリ、傷、水(油) 滴等がつかないように取り扱ってください。また、記録面への文字の書き込みは絶対にしないでください。

ラベル面への文字の書き込みは柔らかい油性のフェルトペンを使用し、ボールペン、鉛筆などの先の固い筆記具は使用しないでください。

メディアにラベルや保護シートを貼ったり、コーティング剤などを使用しないでください。

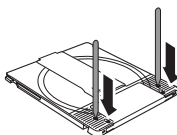
メディアが汚れた場合は市販の専用クリーナーおよび洗浄液でクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナー等は使用しないでください。

取り出したメディアは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

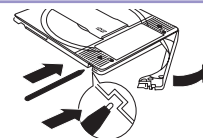
メディアを落下させたり、曲げたりしないでください。

TYPE4 カートリッジからメディアを取り出す場合

- 1** カートリッジのロックピン（2ヶ所）を、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って取り除きます。



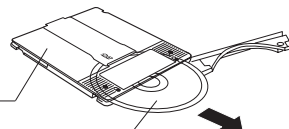
- 2** カートリッジ左手前側面にある開閉部のへこみを先の細いもので押さえ、開閉ふたを開けます。



- 3** 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、メディアを水平に取り出します。

1. カートリッジ A 面と

2. SIDE A 面が同じ方向



メディアを収納するときは

カートリッジのA面とメディアのSIDE Aを同じ向きにしてメディアをカートリッジに挿入し、開閉フタを閉じる位置まで戻します。開閉フタを閉じた後ライトプロテクト（書き込み禁止・許可）の設定に注意してください。

取扱い上のお願い

開閉フタを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。

メディアを取り出した後のカートリッジにDVD-RAM以外のメディアを入れて使用しないでください。

メディアの記録面に指紋やよごれ、ホコリ、傷、水（油）滴等がつかないように取り扱ってください。また、記録面への文字の書き込みは絶対にしないでください。

メディアにラベルや保護シートを貼ったり、コーティング剤などを使用しないでください。

メディアが汚れた場合は市販の専用クリーナーおよび洗浄液でクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナー等は使用しないでください。

取り出したメディアは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

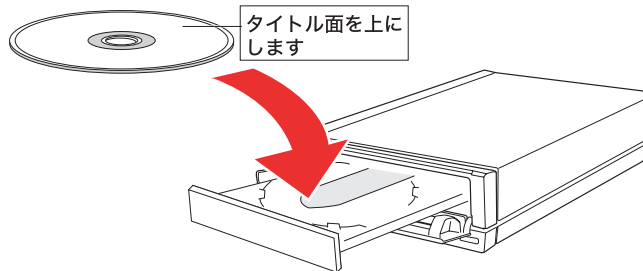
メディアを落下させたり、曲げたりしないでください。

メディアのセットと取り出し

メディアをセットするときは、本製品の電源がONになっている状態でタイトルなどが印刷されている面を上にして、トレイにセットしてください。

メディアを取り出す際は、デスクトップ上でマウントされているメディアのアイコンをゴミ箱()に重ねてください。

ゴミ箱のアイコンはメディアのアイコンを選択すると取り出しのアイコンに変化します。

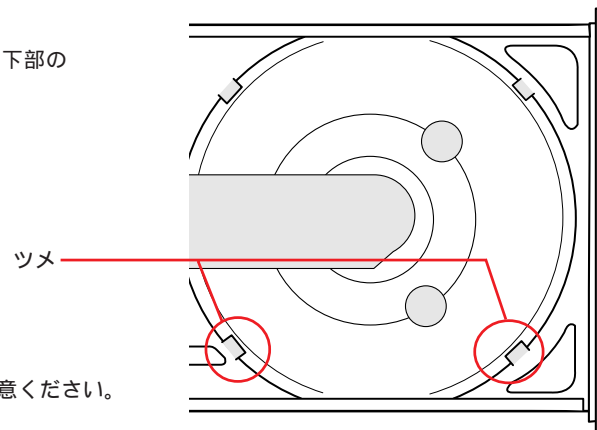


ご注意

- ・本製品でカートリッジ付きDVD-RAMメディアをご使用になる場合は、カートリッジから取り出して直接メディアを本製品にセットしてください。TYPE1のDVD-RAMメディアはカートリッジからメディアの取り出しはできませんので、本製品では使用できません。
- ・メディアをセットしたまま本製品を移動すると、メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、本製品の電源を切るときにはメディアがセットされていないことを確認してください。
- ・DVDメディアにはラベルを貼付しないでください。メディアが偏重心を起し、正常に読み取れなくなる場合があります。
- ・メディアやトレイにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。メディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナーでエアを吹き付けて、メディアとトレイの清掃を行ってください。
- ・トレイを排出したまま放置しないでください。ゴミやホコリの侵入によって内部部品が劣化する場合があります。

縦置きで設置した場合のご注意

本製品を縦置きで設置した場合は、メディアをセットする際にトレイ下部の2カ所のツメでメディアを支えるようにしてください。



縦方向で設置した場合、8cm ディスクは全て使用できません。ご注意ください。

本製品の取り外しについて

本製品はインターフェースとして IEEE 1394 & USB を採用しているため、ホットプラグ（パソコン本体の電源が ON の状態での取り付け・取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、以下のような点に注意してください。

- ・書き込みを行うソフトウェアが起動しているときに、本製品を取り外してはいけません。取り外しはソフトウェアを終了してから行ってください。
- ・取り外しを行う前に、本製品からメディアを取り出しておいてください。
- ・本製品や併用している USB 機器や IEEE 1394 機器のアクセス中に、取り外してはいけません。

上記の点を確認したら、次ページで記す手順でアンプラグ操作を行ってから、本製品の取り外しを行ってください。

対応メディアについて

LBD-A2FU2/MMの対応するメディアは以下の通りです。

対応メディア(BD)

メディア名	容量	書き込み速度	読み込み速度
BD-R/RE 片面1層	25GB	2X	2X
BD-R/RE 片面2層	50GB	2X	2X

カートリッジ型のものは本製品では使用できません。

対応メディア(DVD-RAM)

メディア名	容量	メディア対応速度	書き込み速度	読み込み速度
DVD-RAM	片面 4.7 GB 両面 9.4 GB	5倍速対応 Ver. 2.2 / 5 X - SPEED DVD- RAM Revision 2. 0	5倍速	最大 5倍速
		3倍速対応 Ver. 2.1 / 3 X - SPEED DVD- RAM Revision 1. 0	3倍速	最大 5倍速
		2倍速対応 Ver. 2. 1	2倍速	最大 5倍速

Type1のDVD-RAMメディアは使用できません。Type2、Type4のDVD-RAMメディアはカートリッジから取り出してご使用ください。

対応メディア (DVD-RAM 以外)

メディア名	容量	書き込み速度	読み込み速度
2層 DVD+ R	8.5 GB	4倍速 / 2.4倍速	最大 8 倍速
1層 DVD+ R	4.7 GB	8倍速 / 4倍速 / 2.4倍速	最大 8 倍速
DVD+ RW	4.7 GB	8倍速 / 6倍速 / 4倍速 / 2.4倍速	最大 8 倍速
2層 DVD- R	8.5 GB	4倍速 / 2倍速	最大 8 倍速
1層 DVD- R	4.7 GB	8倍速 / 4倍速 / 2倍速	最大 8 倍速
DVD- RW	4.7 GB	6倍速 / 4倍速 / 2倍速 / 標準速	最大 8 倍速
DVD- ROM 1層	4.7 GB	-	最大 8 倍速
DVD- ROM 2層	8.5 GB	-	最大 8 倍速
CD- R		24倍速 / 16倍速 / 8倍速	最大 32 倍速
CD- RW		16倍速 / 10倍速 / 4倍速	最大 24 倍速
CD- ROM		-	最大 32 倍速

すべて IEEE 1394 または USB 2.0 接続時の理論値です。USB 1.1 接続時は、「DVD メディアへの書き込み / 読み込み」が標準速未満「CD メディアへの書き込み / 読み込み」が最大 8 倍速に制限されます。また、DVD メディアへのビデオの書き込み / 読み込みは未対応となります。

DVD-RAM 以外のメディアへ書き込みを行う際、ドライブ側ではベリファイを行いません。データの書き込みを行った後は、念のため読み込みを行ってメディアに正しくデータが書き込まれていることをご確認ください。

ご注意

BD/DVD/CDメディアともに書き込みの際には、書き込みを行うソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したメディアをご使用ください。

BD/DVD/CDメディアにはラベルなどを貼り付けしないでください。メディアが偏重心を起し、正常に読み取れなくなる場合があります。

推奨メディアメーカー

メディア名	推奨メディアメーカー
BD-R/RE 片面1層	松下電器産業株式会社、 ソニー株式会社、 TDK株式会社
BD-R/RE 片面2層	松下電器産業株式会社
DVD- RAM (5 倍速以下の書き込みの場合)	日立マクセル株式会社、 松下電器産業株式会社
2 層 DVD+ R	三菱化学メディア株式会社、 株式会社リコー
1 層 DVD+ R	TDK株式会社、 太陽誘電株式会社、 日立マクセル株式会社 三菱化学メディア株式会社、 株式会社リコー、 ソニー株式会社
DVD+ RW (8 倍速書き込み時)	株式会社リコー
DVD+ RW (4 倍速以下の書き込み時)	三菱化学メディア株式会社、 株式会社リコー、 ソニー株式会社
2 層 DVD- R	三菱化学メディア株式会社
1 層 DVD- R	ソニー株式会社、 太陽誘電株式会社、 TDK株式会社、 日立マクセル株式会社、 富士写真フイルム株式会社、 三菱化学メディア株式会社、 松下電器産業株式会社
DVD- RW (6 倍速書き込み時)	TDK株式会社、 日本ビクター株式会社、 三菱化学メディア株式会社
DVD- RW (4 倍速以下の書き込み時)	TDK株式会社、 日本ビクター株式会社、 三菱化学メディア株式会社、 ソニー株式会社
CD- R	ソニー株式会社、 太陽誘電株式会社、 TDK株式会社、 富士写真フイルム株式会社、 三菱化学メディア株式会社、 リコー株式会社、 日立マクセル株式会社
CD- RW (24 倍速書き込み時)	三菱化学メディア株式会社
CD- RW (10 倍速書き込み時)	三菱化学メディア株式会社、 株式会社リコー

ご使用の際のヒント

DVD ビデオを作成する場合

DVDビデオを作成するには、映像素材の取り込み、オーサリング、メディアへの書き込みの順に作業を行う必要があります。

1. 映像素材の取り込み

DVカメラなどから映像素材をデータとして取り込むには、アップルコンピュータ社製ソフトウェア「iMovie」をご使用ください。

2. オーサリング、メディアへの書き込み

オーサリング(取り込んだ映像素材を並べ替えたり、効果を与える作業)から、書き込みまでは本製品に付属のソフトウェア「Toast 7 Titanium for Blu-ray Data」を使用して行います。iDVD6で作成されたDVDビデオのディスクイメージも書き込むことができます。

Toast 7 Titanium for Blu-ray Dataの使い方については、Toast 7 Titanium for Blu-ray Dataのクイックガイドをご参照ください。

データの書き込み (DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、CD-R、CD-RW)

データの書き込みは、本製品に付属のソフトウェア「Toast 7 Titanium for Blu-ray Data」を使用します。

「Toast 7 Titanium for Blu-ray Data」では、「データDVD」「データCDの作成」「オーディオCDの作成」「CDのバックアップ」を行うことができます。

Toast 7 Titanium for Blu-ray Dataの使い方については、Toast 7 Titanium for Blu-ray Dataのクイックガイドをご参照ください。

Mac OS X 10.4以降のバージョンではFinder上でデータの書き込みができます。

再生

DVDビデオおよび音楽CDの再生は、アップルコンピュータ社純正のソフトウェアが使用可能です。

DVD プレーヤ : DVD ビデオ再生ソフトウェア

iTunes : 音楽CD再生ソフトウェア

SuperDrive/コンボドライブ/DVD-ROMドライブのいずれかが搭載されていない機種の場合、DVDビデオの再生を行うことはできません。

Mac OS X 10.4以降のバージョンではiTunesを使って音楽CDの作成を行うことができます。

DVD-RAM メディアのフォーマット（初期化）

DVD-RAMメディアをご使用になる場合は、以下の方法でフォーマットを行ってください。

Mac OS X 10.4以降のバージョンではDVD ± RW、CD-RWもこの方法でフォーマットを行えば、データの書き換え（DAO）が可能です。

DVD ± R、CD-Rに関してはフォーマットは必要ありません。

フォーマット手順

メニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択して「アプリケーション」「ユーティリティ」「ディスクユーティリティ」を選択してください。

本製品にDVD-RAMメディアをセットします。

その際、右のウィンドウが表示されることがありますので、「無視」ボタンをクリックしてください。



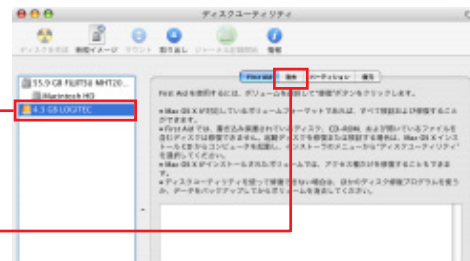
「無視」をクリック

ディスクの一覧に「4.3GB LOGITEC」が表示されますので、クリックして選択後、「消去」タブを選択してください。

1. 「4.3GB LOGITEC」

を選択

2. 「消去」タブを選択



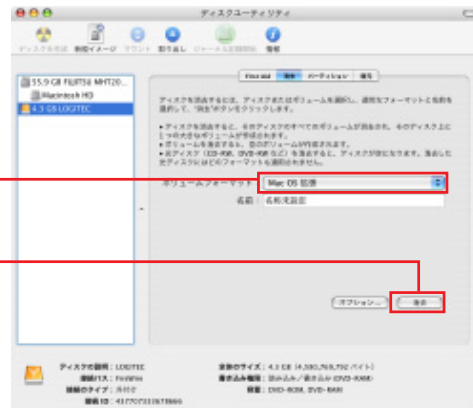
先頭に戻る

ボリュームフォーマットで「Mac OS 拡張」を選択し、「消去」ボタンをクリックしてください。

1. 「Mac OS 拡張」を選択

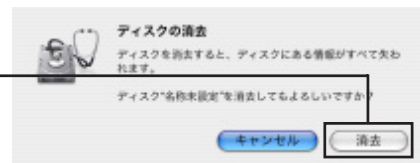
2. 「消去」をクリック

Windows とのデータ交換に使用する場合は、ボリュームフォーマットに「MS-DOS」を選択してください。ただし、「MS-DOS」フォーマットはMacintosh環境でご使用の場合、恒久的に使用する用途としては適していません。



確認のメッセージが表示されるので、再度「消去」ボタンをクリックしてください。

クリック



デスクトップに右のアイコンが表示されれば、フォーマット(初期化)は終了です。ディスクユーティリティを終了しておいてください。



PC 電源連動機能について

PC電源連動機能とは、接続先のパソコンの電源のON/OFFに連動して、ブルーレイディスクユニットの電源のON/OFFが切り替わる機能のことです。いったん本製品の背面の電源スイッチを「AUTO」に設定してパソコンに接続すれば、後はパソコンの電源のON/OFFに連動して本製品の電源もON/OFFされます。

LDR-MA16FU2/WM の ON/OFF は下表のように切り替わります。

動作	電源スイッチ		
	AUTO 時	ON 時	OFF 時
起動中のパソコンに接続した時	ON	常に ON	常に OFF
接続先のパソコンの電源をOFFにした時	ON		
接続先のパソコンがスリープや省電力モードから復帰した時	ON		
IEEE 1394 またはUSB ケーブルを外した時	OFF		
パソコンがシャットダウンしたとき	OFF		
パソコンがスリープや省電力モードになった時	OFF		

- ・ ご使用のパソコンの環境によっては、PC 電源連動機能が正常に機能しない場合があります。その場合は背面の電源スイッチで ON/OFF を切り替えてください。
- ・ 省電力モードから復帰するときにシステムが不安定になるような場合には、パソコンの省電力機能を OFF に設定してください。
- ・ ブルーレイディスクユニットを接続した状態でパソコンを起動する際、PC電源連動機能によりブルーレイディスクユニットの電源がON/OFFを繰り返す場合がありますが、問題ありませんのでそのままご使用ください。
- ・ 本製品はバスパワーでは動作しません。ご使用の際は必ず付属の AC アダプタを電源コンセントに接続してご使用ください。



ここではブルーレイディスクユニットをご使用の際に寄せられる良くある質問についてお答えしております。参照したい項目をクリックしてください。

本製品がドライブとして認識されません。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されません。

セットしたメディアが認識されません。

DVD-RAMのアクセス時にエラーが発生します。

BD/DVDメディアに追記書込できません。

メディアの書き込み時にエラーが多発します。

パソコン上でDVDビデオが再生できません。

特定のメディアにアクセスできません。

DVD-RAMに書き込みができません。

本製品を使用して作成したDVDビデオが市販のDVDプレーヤーで再生できないのですが？

Q**question**

本製品がドライブとして認識されません。

A**answer**

ケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。

電源コードの接続やコンセントの状態に問題がないかどうか確認してください。

インターフェースボードのドライバは正しくインストールされていますか？また、使用OSのバージョンに問題はありますか？

本製品をハブ経由で接続している場合は、パソコンのポートに直接接続して試してみてください。

Q**question**

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されません。

A**answer**

ソフトウェアを起動してから、本製品を接続しませんでしたか？ 本製品は必ずソフトウェアを起動する前に接続してください。

ライティング・ソフトウェアは本製品付属のものを使用していますか？ 同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

Q**question**

セットしたメディアが認識されません。

A**answer**

裏返しなどの異常な状態でセットされていませんか？

そのメディアは本製品でサポートしているものかどうかを確認してください。本製品で使用可能なメディアについては「対応メディアについて」をご参照ください。

Q**question**

DVD-RAMのアクセス時にエラーが発生します。

A**answer**

メディアの記録面は汚れていませんか？ ディスク・クリーニングを行ってください。

メディアの不良も考えられます。別のメディアで試してください。これで問題がなければ、(可能であれば)エラーが発生するDVD-RAMのデータをバックアップした上で、再生フォーマットを行ってください。

Q**question**

DVDメディアに追記書き込みできません。

A**answer**

Macintosh 環境でご使用の場合、付属のライティングソフトウェア「Toast 6 Lite」は、DVD メディアへの追記書き込みには対応しておりませんので、DVDメディアに追記書き込みすることはできません。

Q**question**

メディアの書き込み時にエラーが多発します。

A**answer**

適切な使用環境で使用していますか？ 本製品の使用環境については、「使用環境について」をご参照ください。

Q**question**

パソコン上でDVDビデオが再生できません。

A**answer**

SuperDrive / コンボドライブ / DVD-ROMドライブのいずれかが搭載されていない機種の場合、DVDビデオの再生を行うことはできません。

リージョンコード「2」以外のDVDビデオを再生しようとしていませんか？ これは日本以外の国を対象としたDVDビデオですので、本製品では再生できません。

DVDビデオ再生用のソフトウェアはインストールしていますか？ 本製品にはDVD再生用のソフトウェアは付属しておりません。DVD再生用ソフトウェアがない場合、別途アップルコンピュータ社ホームページより入手していただく必要があります。

リージョンコードの書き換えを行っていませんか？

Q**question**

特定のメディアにアクセスできません。

A**answer**

そのメディアは「2」以外のリージョンコードを持つDVDビデオではありませんか？ そのメディアは著作権者によって日本国内で再生することを禁止されていますので、本製品で再生できません。

Q

question

DVD-RAMに書き込みができません。

A

answer

正常にフォーマットされたDVD-RAMを使用していますか？

Q

question

本製品を使用して作成したDVDビデオが市販のDVDプレーヤーで再生できないのですが？

A

answer

市販のDVDプレーヤーの中には、DVD-RAM、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWの各メディアに対応していないものもあります。ご使用のDVDプレーヤーのカタログ・取扱説明書などをご確認ください。

使用環境について

FireWire ポートに接続する場合

パソコン本体

アップルコンピュータ社

Mac mini	iMac G5
iMac (USB 2.0)	iMac (17-inch 1GHz)
iMac (17-inch Flat Panel)	iMac (Flat Panel)
iMac (Early 2006)	iBook G4
MacBook Pro	iBook (Dual USB 以降)
Power Mac G5	Power Mac G4 (AGP Graphics 以降)
Power Mac G4 Cube、	PowerBook G4
eMac	eMac G4

Power Mac G4 (PCI Graphics) は未対応です。
SuperDrive/ コンボドライブ/ DVD-ROM ドライブを搭載していない機種では、DVD ビデオの再生はできません。

対応 OS

Mac OS X 10.3.9 以降

全て日本語 OS に限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。
DVD+R メディアの読み込みには、Mac OS X 10.3 以降の環境が必要です。
ご使用の際は、スクリーンセーバーおよび省電力設定は OFF にしてご使用ください。

USB ポートに接続する場合

パソコン本体

アップルコンピュータ社

Mac mini	iMac early 2006
iMac G5	iMac (USB 2.0)
Power Mac G5	MacBook Pro
iBook G4	
PowerBook G4 (USB 2.0 を標準搭載している機種)	
Power Mac G4	Power Macintosh G3 (Blue and White)

Power Mac G4、Power Macintosh G3 (Blue & White) の場合、USB 2.0 High-Speed での動作には、USB 2.0 High-Speed 対応のインターフェースボードまたはインターフェースカードの増設が必要です。
SuperDrive/ コンボドライブ/ DVD-ROM ドライブを搭載していない機種では、DVD ビデオの再生はできません。

対応 OS

Mac OS X 10.3.9 以降

DVD+R メディアの読み込みには、Mac OS X 10.3 以降の環境が必要です。
USB 1.1 ポートへの接続はできません。
全て日本語 OS に限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。
ご使用の際は、スクリーンセーバーおよび省電力設定は OFF にしてご使用ください。

オプション品について

弊社ではインターフェースボードやケーブルなどを別売品として取り扱っております。オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求めください。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www.logitec-direct.jp>

PCIバス用 USB 2.0 インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA-USB2VA	PCI	インターフェースボード単体 Windows XP、Me、98、2000 対応

CardBus対応 USB 2.0 インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM-CBUSB2HB	CardBus	インターフェースカード単体 Windows、Mac OS X 10.3 以降対応

PCIバス用 IEEE 1394 インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA -FW 801	PCI	インターフェースボード単体 Windows XP, 2000, Mac OS X 10.2.4以降対応
LHA -1394V		インターフェースボード単体 Windows XP, Me, 98 SE, 2000対応

ハードウェア仕様

機種名		LBD-A2FU2/WM
ローディング方式		トレイ方式
バッファメモリ		8MB
インターフェース		IEEE 1394a-2000 USB 2.0 High-Speed (USB 1.1 互換)
コネクタ形状		IEEE 1394 コネクタ 6 ピン×1 IEEE 1394 コネクタ 4 ピン×1 USB シリーズ B
ドライブメーカー		パナソニック四国エレクトロニクス株式会社
BD-R/RE (片面1層/2層)		2 倍速
書き込み 速度 *1 *2	DVD-RAM	5 倍速 *3 *4
	DVD+ R 2 層	4倍速 / 2.4倍速
	DVD+ R 1 層	8倍速 / 4倍速 / 2.4倍速
	DVD+ RW	8倍速 / 6倍速 / 4倍速 / 2.4倍速
	DVD- R 2 層	4倍速 / 2倍速
	DVD- R 1 層	8倍速 / 4倍速 / 2倍速
	DVD- RW	6倍速 / 4倍速 / 2倍速 / 複速
	CD- R	24倍速 / 16倍速 / 8倍速
	High Speed タイプ CD- RW	16倍速 / 10倍速
	Multi Speed タイプ CD- RW	4倍速
読み込み 速度 *1	BD-R/RE (片面1層/2層)	最大 2 倍速 *5
	DVD- RAM Ver 2.2	最大 5 倍速 *4
	DVD- RAM Ver 2.1	最大 5 倍速 *4
	DVD- ROM (1 層)	最大 8 倍速
	DVD- ROM (2 層)	最大 8 倍速
	DVD ビデオ (CSS 有り)	最大 6 倍速
	DVD + R 2層、DVD - R 2層	最大 8 倍速
	DVD+ R 1 層、DVD- R 1 層	最大 8 倍速
	DVD+ RW、DVD- RW	最大 8 倍速
	CD- ROM、CD- R、CD- RW	最大 32 倍速
記録方式	DVD+ R	Sequential write方式
	DVD- RAM DVD+ RW	Multi Session方式 Random Write方式
	DVD- R	Disc at once方式
		Incremental recording方式
		Multi Border方式
	BD-R	Sequential Recording方式 / Random Recording方式
BD-RE	Random Access方式	

*1 BDメディアは9MB/sが2倍速で、DVDメディアは1385KB/sを標準速とし、CDメディアは150KB/sを標準速とします。記載されている速度は全てUSB 2.0 (High-Speed) での使用時のものです。USB 1.1接続で使用する場合、DVDメディアは標準速未満、CDメディアは書き込み・読み込みともに8倍速未満に制限されます。BDメディアは利用できません。

*2 設定速度に対応したメディアをご使用ください。

*3 5倍速での書き込みを行うためには5倍速対応のDVD-RAMメディア「5X-SPEED DVD-RAM Revision 2.0」が必要です。
3倍速での書き込みを行うためには3倍速対応のDVD-RAMメディア「3X-SPEED DVD-RAM Revision 1.0または、5倍速対応のDVD-RAMメディア「5X-SPEED DVD-RAM Revision 2.0」が必要です。

注: ver 1.0の2.6GB、5.2GBメディアは対応しておりません。

*4 カートリッジに入ったDVD-RAMメディアは、使用できません。
カートリッジから取り出して、使用してください。

*5 カートリッジに入ったブルーレイディスクは使用できません。

記録方式	DVD-RW	Disc at once方式	
		Restricted Overwriting方式	
		Incremental Recording方式	
	CD-R CD-RW	Track at once方式 / Disc at once方式 Session at once方式 / Packet write方式	
記憶容量	BD-R/RE 片面1層	25GB	
	BD-R/RE 片面2層	50GB	
	DVD-RAM Ver 2.1 以降	片面ディスクで 4.7 GB	
		両面ディスクで 9.4 GB	
	DVD+R 2層 DVD-R 2層	片面ディスクで 8.5 GB 以下	
	DVD+R 1層、 DVD+RW DVD-R、DVD-RW	片面ディスクで 4.7 GB 以下	
CD-R CD-RW	80分ディスクで 700 MB 以下 70分ディスクで 650 MB 以下		
平均アクセスタイム	BD-ROM	170 ms	
	DVD-RAM	300 ms	
	DVD-ROM	170 ms	
	CD-ROM	160 ms	
最大データ転送速度 (I/F) *6		480Mbps	
DVD-ROM 関係	リージョンコード	2 (固定)	
	CPRM	対応	
BD-ROM関係	AACS	対応	
環境条件 *7	動作時	温度	10℃～35℃
		相対湿度	20%～80%
	保管時	温度	-10℃～50℃
		相対湿度	10%～90%
入力電圧		DC +5V ± 10%、DC +12V ± 5%	
消費電力 (定格)		16 W *8	
外形寸法 幅 × 奥行き × 高さ		148 × 195 × 42.3 mm *9	
質量		1.7kg *10	
設置方向		水平/垂直	

*6 理論値

*7 ただし、結露なきこと

*8 ACアダプタ含む

*9 横置き時、突起部を除く

*10 本体のみ

保証とサービスについて

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、弊社サービス窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。
故障かどうか判断がつかない場合は、事前に下記弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

弊社サービス窓口およびテクニカルサポートの連絡先については、次ページの「サポート/修理受付窓口のご案内」をご参照ください

保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ユーザーサポート窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

お問い合わせの際に次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。

現在の状態（できるだけ詳しく）

製品の名称/シリアル番号（保証書に記載されています）

ご購入年月日、ご購入先

テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8 2 6 8 ロジテック株式会社 テクニカルサポート
TEL. 0570-022-022 FAX. 0570-033-034
受付時間： 月曜日～金曜日 9：00～12：00、13：00～18：00（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）はご利用になれません。

郵送または宅配便にて修理依頼される場合のお願い

- ・ 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・ 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・ 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所/電話番号）」、「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・ 保証期間経過後の修理については、お見積もりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

修理品送付先

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268
ロジテック（株）修理サポートセンター（3番受入窓口）

TEL：0265-74-1423 FAX：0265-74-1403
受付時間： 月曜日～金曜日 9：00～12：00、13：00～17：00（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）